

学習課題(小学校3年生)

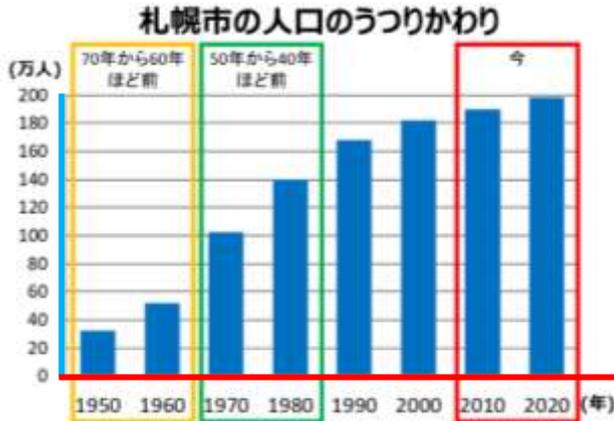
【社会】



<学習内容> 「市の様子と人々のくらしのうつりかわり」

◆市の様子と人々のくらしのうつりかわりについて、教科書122～141ページや地図帳、学校で使っている資料などを参考にして取り組みましょう。

(1) 札幌市の人口のうつりかわりについて、下の資料を見て答えましょう。



- ① たてのじく、横のじくは何をしめしていますか。
- ② 人口はどのようにかわってきているといえますか。
- ③ 人口が②のようにかわってきた理由を考えてみよう。

(2) 札幌市の人口のうつりかわりや公共しせつのうつりかわりについて下の()にあてはまる言葉を□からえらび、書きこみましょう。

70年から60年ほど前	50年から40年ほど前	今
・(①)町や (②)村、 札幌村などが札幌市と いっしょになる。	・1970年(昭和45)年、 人口が(③) 万人をこえる。 ・(④)がか いさいされる。	・お年よりの数がふえ ている。 ・およそ15万人の (⑤)の 人がくらしている。

- ・図書館などの市民みんなが使う「公共しせつ」は、みんなから集めた(⑥)をもとにつくられています。
- ・公共しせつは、50年ほど前から多くつくられるようになりました。それは、(⑦)がふえたからです。

外国 札幌オリンピック 5 100 円山 白石 税金 人口

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習では、市の土地の広がりや公共施設ができたことを人口の移り変わりと結び付けて捉えることが大切です。
- ・市の人口が増えた理由を公共施設と関連付けて考えることで、市の様子と暮らしの移り変わりについての理解が深まります。